

## 注目商品

# スマホが基地局 全国どこでも 視てすぐ放送 日本初 遠隔放送監視カメラ「安視ん<sup>あんし</sup>ボイス」が 危機管理の新しい道をつくる

株式会社プロテック 環境・情報通信事業部 COO 加納 博之



### 【会社紹介】

株式会社プロテック（所在地：広島県福山市、代表取締役：永井 健三）は、一瞬にして尊い生命を奪い、全ての財産を失ってしまう火災惨事を未然に予防する、消防用機器設備の設計・施工・管理・メンテナンス業を柱とし、1981年に起業いたしました。

創業以来、私たちを取り巻く社会環境・秩序は目まぐるしく変化を遂げ、人々の「安全・安心・快適・循環」への欲求は年々高まっています。生活の基本要素である「衣・食・住」の住空間において「人々の生命と財産を守る」を企業理念としています。居住空間や社会活動空間など、あらゆる分野における消防用機器設備や防犯システム等を今日まで提案してまいりました。

### 【「安視ん君」の普及】

2011年頃から街頭や地域の「防犯の眼」として活躍しているのが、当社の「録画一体型防犯カメラ『安視ん君』」です。今や全国各地の通学路・公園・商店街などに設置されています。カメラとレコーダーがハウジング内で一体となった、画期的な発明として認められ「録画一体型防犯カメラ」が特許権を取得したのは2015年のことでした。電源100Vを供給すればすぐに設置・運用可能なうえ、カメラ部やレコーダー部が一体収納されたことにより、高いセキュリティ性が保たれています。防犯設備士・総合防犯設備士による年1回の定期メンテナンスを必須としている点も安全・安心を担保できるとして、多くの自治体・警察・町会等からの支持を得ています。

### 【「安視んボイス」の特長】

今年4月に発売開始した「遠隔放送監視カメラ『安視んボイス』」は、当社が従来より製造している「防犯カメラ」と「遠隔放送スピーカー」を組み合わせた製品で、津波・河川氾濫などの災害時に、逃げ遅れて命を失う人を一人でも助けたいという思いから開発しました。災害の現場では確かな情報を早く入手することにより、避難行動に移すことができます。遠隔地からでも声掛けをできることは、命を救う時間を確保できるのです。

これまで遠隔で放送できるシステムは存在していたのですが、遠隔でのカメラ映像閲覧・放送が一つのアプリケーションで操作できる製品はなく、特許出願中です。

開発した本製品は、スマートフォンまたはタブレット（現在はAndroid OS端末に限る。以下、スマホ）を用い、遠隔地の映像を見ながら放送するシステムです。

本製品カメラ部からの映像をスマホで確認し、スマホをマイク代わりにして発声すると、本製品のスピーカー部から現地に音声がかかります。周囲100m先まで明瞭に聞こえます。1台のスマホに登録できる「安視んボイス」の台数は200台です。また、スマホアプリに登録した「安視んボイス」のリストから任意の機器を選択して、最大10台同時に放送することができます。登録している「安視んボイス」のグループ分けも今後可能となる予定で、使い勝手のさらなる向上が望めます。

状況に応じた肉声での放送はもちろん、あらかじめ登録しておいた音声データを選択しての放送も行えま

す。通信はLTE回線を利用する為、本製品設置場所ならびにスマホの操作場所がLTEサービスエリア内であれば全国どこでも運用できます。

さらに、カメラ・スピーカー・通信が一体型となっており、配線不要でAC100Vの電源を供給しさえすれば運用開始できる手軽さがメリットです。電源がない場所では、太陽光発電による電源供給のオプション仕様を用意しています。増設や移設も容易で、カメラとレコーダーが一体となった「安視ん君」のコンセプトを引き継いでいます。まさに、省人・省力・省エネのシステムです。

運用手順は下記の通りで、運用開始まで3分です。



### 【防災行政無線の現状と「安視んボイス」】

災害情報などを住民に伝える「防災行政無線」の全市町村数に対する整備率は、総務省によると令和4年度末現在で76.6%。現在整備している市町村も更新時期に差し掛かってきます。また、防災行政無線は、スピーカーから遠いところに住んでいる人や、天候や環境によって放送が届かない・届きづらいというケースもあります。

防災行政無線の導入が進まない要因としては、システムが高額なこともあり予算計上が難しく、市町村全域にスピーカーを設置することが困難であることもうかがえます。

その点、「安視んボイス」は基地局や放送室などの整備が不要で、100Vの電源を確保できればどこへでも設置できるところが最大のメリットです。新設や更新だけでなく、既設のシステムでは聞こえづらい地域・エリアを補完する役割も担えます。町内会長や消防団、知り合いなど、自分が住んでいる地域の声が聞こえてくるからこそ、身近な人に届く声となるのです。

今年元日発生の能登半島地震は記憶に新しく、また首都直下型地震、南海トラフ地震も想定されるなか、気候変動や自然災害への備えは十分に行いたいものの、予算計上が難しい場合も予想されます。市区町村には予算措置をクリアしながら、災害情報を漏れなく伝達する製品・システムへの潜在的ニーズがあると私たちは考えています。

当社はLTE通信のSIM契約も包含した機器レンタルにも対応しており、例えば豪雨災害の危険が高まる初夏から秋にかけての数ヶ月のみの短期契約・設置ということも可能。防災の拠点として設置提案を進めています。

### 【「安視んボイス」の活躍】

危機管理・災害への備えだけでなく、人が多く集うイベントなども活躍の場だと考えています。現在、人手不足はすべての業界が直面している社会問題です。警備業界においても、イベント時のスタッフ確保が一番の課題です。現場から離れた場所で、見てすぐ放送することで、現場をサポートすることができます。大勢の人に一度に案内情報を伝えることができるのは、助っ人がたくさんいるように感じられます。まさに「警備員の目と口」として「安視んボイス」が活躍することでしょう。

他にも、建設現場での「現場監督の目と口」や、公園に設置して「遊んでいる子どもたちを見守る目と口」となり、有事の際には声掛けをすることができる、地域の祭りの「管理者の目と口」など活用場面は無限大です。

実際の導入実績を重ねていますが、そのなかで今夏開催された中規模の祭りの雑踏警備についての事例をご紹介します。主催者から祭り警備の委託を受けていた警備保障会社が「安視んボイス」を運用しました。

#### 設置場所・台数:

- 祭りメイン会場 1台
- 来場者の出入り通路 通行方向平行にスピーカー2台タイプ 1台（下写真）



#### 特に効果を実感したシチュエーション:

祭りのフィナーレ打ち上げ花火終了後来場者が一斉に帰り始めてからは、警備員は交差点の歩行者誘導や、道順やトイレの場所などを尋ねる個人の対応に追われ、群衆向けに注意喚起をすることができない状況でした。

そこで「安視んボイス」であらかじめ準備していた音声（「警備員の指示に従ってください」「交差点付近が混雑しています」「小さいお子様をお連れの方は手を引いてください」「シャトルバスは午後10時が最終となります」など）を、状況に応じてアプリを用いて放送しました。（次ページ写真。「安視んボイス」のカメラ映像スクリーンショット）

実際に運用した警備責任者は、「特に今回のようなエリア警備に適した製品だ」とのことで今後も活用したい考えでした。



雑踏を写したカメラ映像

### 【「安視んボイス」の今後】

多様な業界へのPRを重ねていますが、「ありそうでなかった製品だね！」とのお声をよく頂きます。「災害発生時に逃げ遅れる人を少しでも減らしたい」という私たちの開発当初の願いからさらに広がりをもって、「こんなことに使えないだろうか？」と逆にお客様からお問い合わせをいただくことも増えています。

例えば防犯目的として、昨今問題となっている太陽光発電所のケーブル盗難防止として。カメラで現地のようなすを確認し不審者を発見した際には、パトカーサイレン音を流すことで威嚇するなど、難しいシステムを構築することなくこの「安視んボイス」1台で叶うのです。昨今の世の中で少なくなった声掛けで、明るい街づくりに貢献できる製品だと信じて、普及活動を進めます。明るい声掛けは、明るい未来を創ります。

録画一体型防犯カメラ「安視ん君」で、人々の安全・安心への願い実現に貢献していると実感する日々です。今後は「安視ん君」と併せて、カメラ プラス 遠隔放送の「安視んボイス」で危機管理の新しい道を切り拓いていきます。

-お問い合わせはこちら-



【本社】…西日本エリア担当  
721-0973 広島県福山市南蔵王町 6-18-40  
TEL: 084-943-6444 FAX: 084-943-6446

【東京営業所】…東日本エリア担当  
105-0013 東京都港区浜松町 2-7-8 加藤ビル 2階  
TEL: 03-6435-7905 FAX: 03-6435-7908

[www.pro-110-119.jp](http://www.pro-110-119.jp)

